山都町立潤徳小学校　学校だより

狭霧（さぎり）の朝

令和４年７月４日（月）　第２２号
校　長　池部　聖吾智（みわとも）

潤徳小HP
QRｺｰﾄﾞ

先生たちも学んでいます！　めざす教師像「3つのJ」の1つ、「授業力」

子どもたちが学校で過ごす時間のほとんどは「授業」です。ならば、その「授業」を行う私たち教職員が一番力を付けておかねばならないこと・・・それは「授業力」です。本校のめざす教師像「3つのJ（上機嫌・情熱・授業力）」の1つでもあります。

どの学校でも授業を公開し、授業後には参観者で研究会を行うという取組を行っています。先週実施した学校訪問では、専門的な視点から教育事務所指導主事の先生方に参観してもらい、授業後に指導・助言をいただきました。また、その前日には、1・2年担任の渡邊先生が算数の公開授業を実施(左上写真参照)し、授業後に職員室で授業についての意見を出し合いました（右写真参照）。

以下は、学校訪問当日、午後からの各分科会の様子です。指導主事の先生から、授業者に対して授業の感想や指導・助言を述べられました。今後の授業改善に活かします。

国語科分科会（5・6年）

道徳科分科会（3年）

算数科分科会（1・2年）

先生たちも日々学んでいます！「授業力」を向上させ、魅力ある授業づくりに努めます。

潤徳抄

上述したが、本校の「めざす教師像」の一つに「上機嫌」というのがある。「上機嫌」な教師を見ていれば子どもたちも幸せな気持ちになるはずだからである▼一日の朝、ある先生が「お話があるのですがよろしいですか？」と校長室にやってきた。そこで聴いた話とは「・・・」だった。池「やったね～ボクもうれしい！」▼ここでは詳細は述べない。朝からルンルン気分になった。先生は、この日（も）「上機嫌」で勤務されていた▼私たちの仕事は、子どもたちがいるからこそ成り立っている。最終的に子どもたちの幸せにつながることをめざす仕事である。私たちも人間だから時には、不機嫌になりがちな日もある。しかし、それを学校に持ち込んでしまっても誰も幸せにならない。学校では、「上機嫌」でいた方がお互いの幸せになる▼そうあるためにも「働き方改革」が求められている。（知徳体の）トレーニング・読書・コンサート（会いたい人に会う）等、自身の資質向上の為の時間を確保したい。